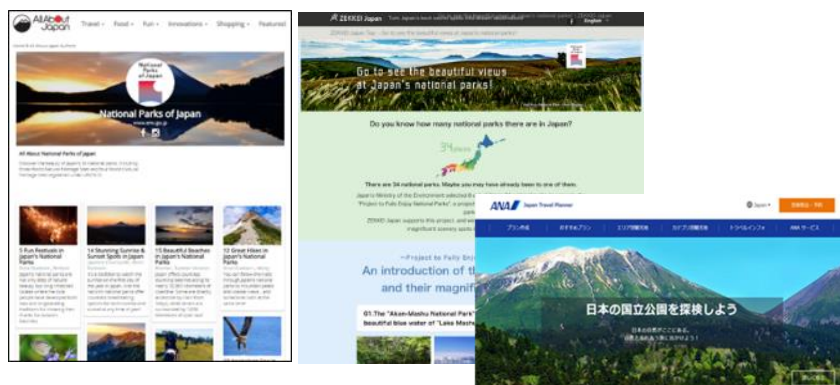


国立公園の魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることを目的に、環境省と企業とがパートナーシップを締結するプログラム（2016年開始、2025年12月時点、153社・団体）。環境大臣との認定書締結、年3回（2025年度）の地方環境事務所、関係自治体とのネットワーキング等も実施している。

オフィシャルパートナー企業の主な取組

パートナー企業のサイト内に国立公園ページの作成



事業者制作広報誌での公園紹介



国立公園ツアーの開発・販売



空港・高速パーキングなど
施設での国立公園動画の放映



雑誌、Webメディアでの記事掲載



パートナーシッププログラム実施規約改定の概要(2025年11月改定)

国立公園の魅力発信に加え、民間と協働して保護と利用の好循環を実現するため、実施規約を改定しました。

従来のプログラム主旨

「国立公園の魅力発信」



取組の進化・深化・多様化

2025年11月改定

「自然環境や景観の保全」「施設の維持管理」「適正利用の推進」等、「保護と利用の好循環」の取組も位置付け。



登山道保全

©株式会社ヤマップ



外来種駆除

©株式会社 National Park Solutions

国立公園オフィシャルパートナーシップ第14回締結式

2025年12月18日新たに18社・団体とパートナーシップを締結し、153社・団体になりました。



各社から締結のプレス発表

株式会社YamaTrips、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結

世界視点の体験設計と発信を通じ、国立公園の価値を国内外へ届ける
株式会社YamaTrips 2025年12月22日

2025年12月12日

八千代エンジニアリング、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結
～ 建設コンサルタントとして"初"自然資本の保全・再生に専門力で貢献～

八千代エンジニアリング株式会社（本店：東京都台東区、代表取締役社長執行役員：高橋 努、以下「八千代エンジニアリング」）は、このたび環境省が推進する「国立公園オフィシャルパートナーシップ」に、建設コンサルタントとして初めて締結いたします。

NOYAMA が環境省の「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、三菱自動車が出資する株式会社 NOYAMA（本社：東京都港区、代表取締役社長：松本 哲宜、以下NOYAMA）が環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結したことをお知らせします。



左から：石原 宏高環境大臣、NOYAMA 松本 哲宜代表取締役社長

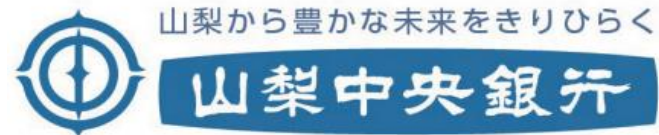


国立公園オフィシャルパートナーシップ第14回締結式

新規締結18社・団体



八千代エンジニアリング株式会社



国立公園オフィシャルパートナー数の推移及び業種別内訳（2026年1月時点）



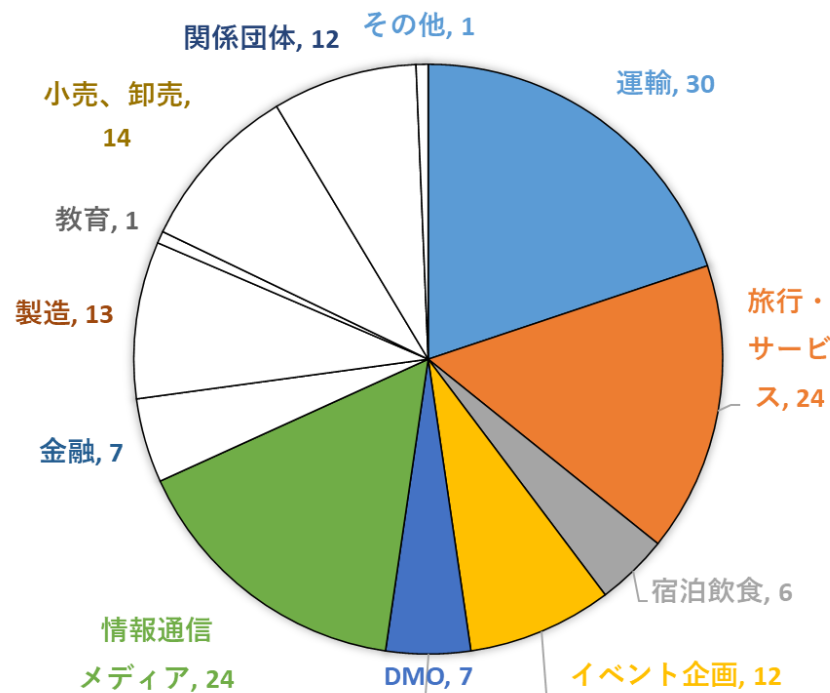
国立公園
オフィシャルパートナー

国立公園オフィシャル
パートナー公式サイト

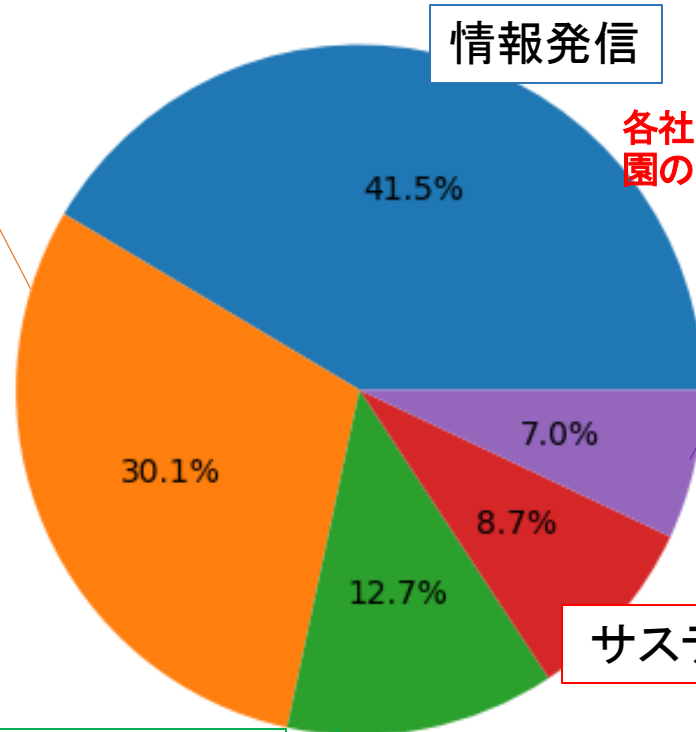
国立公園オフィシャルパートナー数の推移



国立公園オフィシャルパートナーの内訳



国立公園オフィシャルパートナー取組分類割合



魅力向上

公園内でのイベント開催・アクティビティ開発等



©株式会社JTB

情報発信

各社の販売網・商品・発信チャネルを使った公園の魅力発信



©株式会社ADDIX

オフィシャルパートナー 同士の連携

国立公園を舞台にしたパートナー協業の取組



©日本航空株式会社

自然環境保全

環境保全活動・保全への寄付活動等



©イオンテール株式会社

サステナブルな旅

環境配慮型ツアー開発・マナー啓蒙等



©日産自動車株式会社

事例① 地域の子供と国立公園でのごみ拾い活動

関係団体: 魅力向上、自然環境保全

一般財団法人ポケモン・ウイズ・ユー財団

オフィシャルパートナーシップ締結を機に、かねてから主に都市部で行ってきた清掃活動「ピカピカ団」を2025年度は知床国立公園及び周辺にて実施。参加者はピカチュウになりきって参加。子供たちが「環境について考える」機会の創出を目的にしている。



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

国立公園の所在する地域の小学生及びその家族を中心に募集。多くの子供たちが、自分の住む町に「国立公園」があるという誇りや、守るべき自然の宝庫だという事に気づく機会となっている。



事例②「保護と利用」の好循環を目指すオリジナルプロダクト

小売・卸売：情報発信、魅力向上、自然環境保全 株式会社ゴールドウイン



※ザ・ノース・フェイスやヘリーハンセンなどのアウトドアブランドから展開されているオリジナルプロダクト



※全国の国立公園を舞台にした国立公園ツアーも実施

©株式会社ゴールドウイン

全国の国立公園を舞台にした「国立公園ツアー」の実施や、リサイクルポリエステルやオーガニックコットンなど環境に配慮した素材を使用し、国立公園のロゴをデザインしたアイテムを展開。これらの売上の一部を国立公園エリア保全管理のための寄付を行うことで「保護と利用」の好循環を目指す取組となっている。

事例③ Podcast（インターネットRadio）による発信

情報通信・メディア：情報発信

特定非営利活動法人Nature Service



©特定非営利活動法人 NATURE SERVICE

配信プラットフォームは、Apple Podcast, Spotify, Amazon Musicなどを網羅し、より多くのリスナーにアプローチ。
2026年1月現在、17公園配信中。



全国の国立公園の魅力を発信するPodcast番組「Sunny Spot」の配信。各国立公園で実際に働く環境省職員の生の声を届けることを特徴とし、毎月1公園、約3年掛けて35公園を順次紹介。「ながら聴き」に適したPodcastの特性を活かし、通勤時間や家事の合間など様々なシーンで国立公園に触れてもらう機会を創出。従来届きにくかった若い世代や多忙なビジネスパーソンへの「国立公園」の発信をしている。